

iPad授業「聖地」で披露

アップル銀座 英和中高生が発表会

3年間の活動振り返る

山梨英和中高は28日、東京・アップルストア銀座で、タブレット型多機能端末「iPad（アイパッド）」を使った発表会を開いた。授業でアイパッドを取り入れてからの、3年間の活動を振り返る意味で企画した。アップル製品愛好者の間では「聖地」とも言われる場所で、生徒12人がアイパッドを活用して行っている授業や課外学習の様子を、公開プレゼンテーションした。



〈堀田博之〉

同校は2012年3月からアイパッドを導入している。「3年間の活動を振り返るとともに、生徒のプレゼン力を向上させたい」として、アップル店舗で体験学習や発表会を開催できるサービス「フィールドトリップ」を利用して初めて開いた。

中学2、3年と高校1年の生徒12人や保護者らが参加。生徒たちはアイパッドでプレゼン資料をモニターに映しな

山梨英和中高の生徒がアイパッドを使って行ったプレゼンテーション

東京・アップルストア銀座

から、画像、動画、音声などのアプリやデータを保管・共有するサービスを活用して行っている、英語や数学の授業を紹介した。修学旅行のレポート作成や自由研究でも、アイパッドを駆使していることを説明した。

高校1年の水口夕菜さんは発表会について「緊張よりも楽しかった。仲間がいたので心強かった」と感想。「最初にはアイパッドを使った学習に戸感ったが、今では、先生にアプリの使い方をアドバイスできるまで慣れた」と笑顔を浮かべた。

アイパッドを使い始めて約1年が経過する中学2年の波羅日菜子さんは「先輩たちのようにプレゼンテーションでできるようになりたい。まだまだ使いこなせていないが、アイパッドを取り入れた日々の学習は充実している」と語った。